

# 1. 消防組織・体制

## 1. 消防機関

平成28年4月1日現在における市町村消防機関の設置状況は次表のとおりである。

消防本部				消防団		
消防本部	消防署	出張所	消防職員数	消防団数	分団数	消防団員数
31	89	118	8,066	48	781	26,156

県下54市町村（37市16町1村）全てが、常備消防体制をとっている。

常備消防体制を設置主体別にみると、31消防本部のうち23消防本部（22市2町（※）は市町単独で設置し、8消防本部は共同処理による一部事務組合（15市14町1村）を設置している。（※）委託団体含む

消防団は全て非常備消防団である。

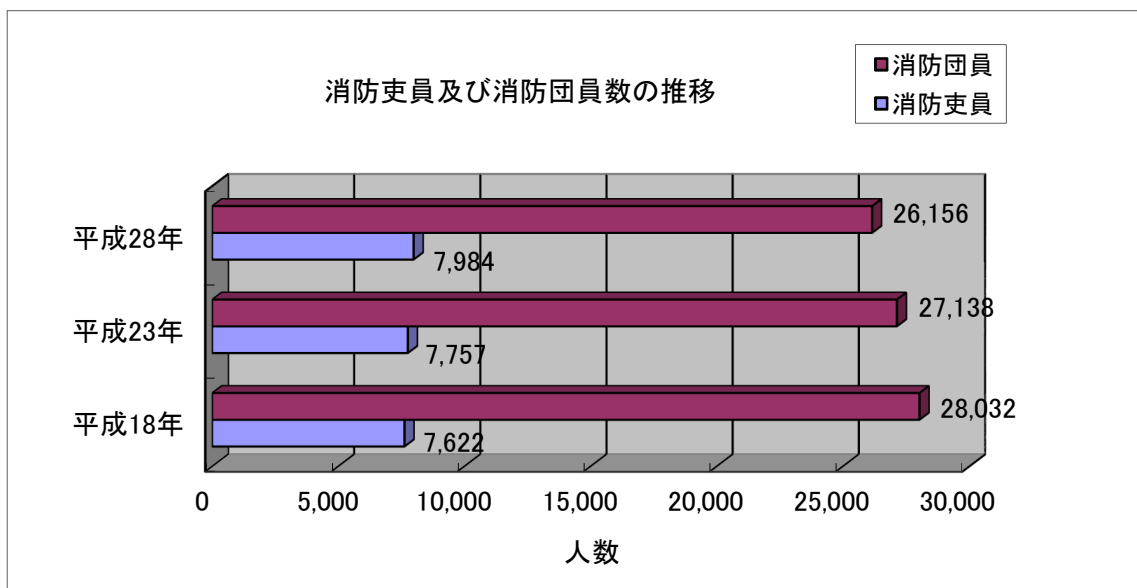
また、管轄する市町村からの119番通報を一括して受け付ける、3つの共同による指令センターを設置している。

## 2. 消防の人員

### （1）消防職員

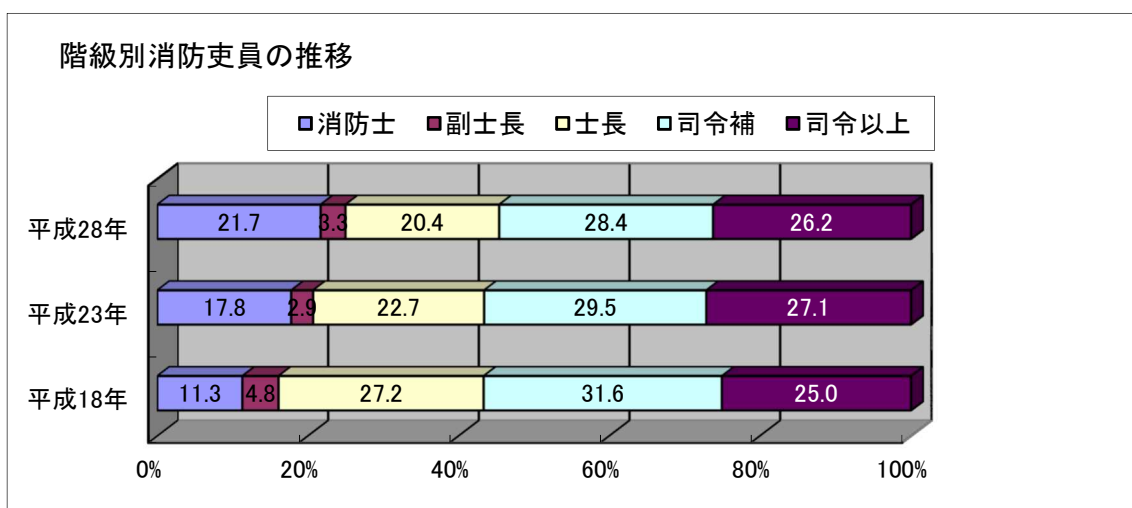
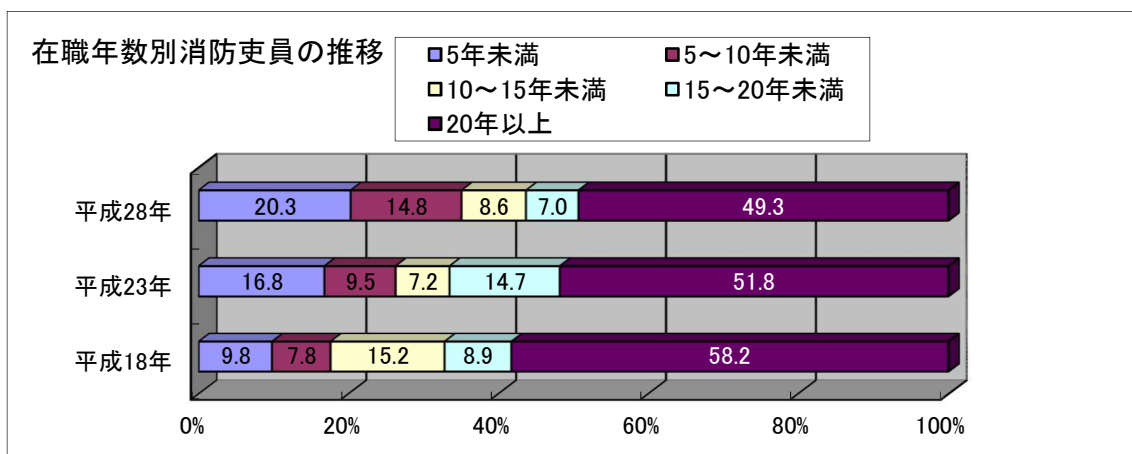
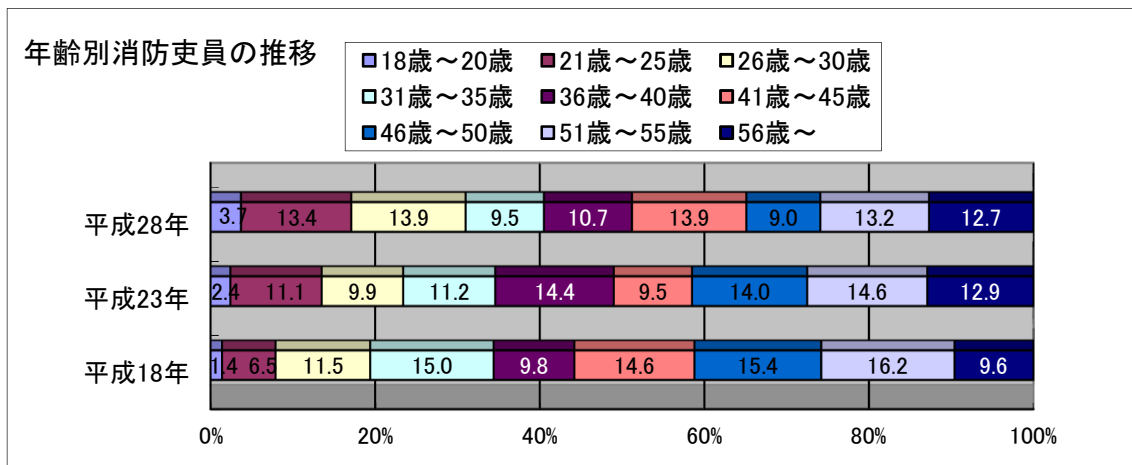
平成28年4月1日現在の消防職員は8,066人、うち消防吏員は7,984人である。

消防吏員数の状況は次のグラフに示すとおりであり、常備消防体制の拡充とともに、増加傾向にある。



消防吏員を年齢別、在職年数別及び階級別に示すと、各々次のグラフのとおりである。年齢別にみると、26～30歳及び41～45歳が13.9%と最も多くなっている。また、消防吏員の平均年齢は39.5歳で昨年より0.2歳下がっている。

在職年数別にみると、5年未満の在職者は20.3%であり10年前のおよそ2倍となっている。



## (2) 消防団員

平成28年4月1日現在の消防団員数は26,156人であり、前年と比較して2,122人減少した。これを10年前と比較すると1,876人(7.2%)減少している。

消防団員を年齢別、在職年数別及び階級別に示すと、各々次のグラフのとおりである。

35歳以下の団員が全体の43.2%、在職年数10年未満の団員が全体の56.4%を占めているが、この割合は減少していく傾向にある。

また、団員の平均年齢は37.3歳で、昨年より0.3歳高くなっている。

